

25) 沖縄県における神経芽細胞腫マス・スクリーニング

小 渡 有 明 (那覇保健所)

沖縄県において、神経芽細胞腫マス・スクリーニングを行政的に実施するにあたって、その実施体制を検討することを目的として、スクリーニングを実施することにした。

殊に、本県は、離島が多いため、離島における実施体制が大きな課題と考えられ、当那覇保健所管内の離島を中心に、一部、他の離島も含めて、神経芽細胞腫のスクリーニングを実施した。

現在は、沖縄本島内の市町村についても、当那覇保健所管内の12市町村を中心にスクリーニング実施をすすめているところである。

実 施 方 法

- 1) 検査セット(母親向けのチラシ、ろ紙、スポイド、尿をつけたろ紙を入れるビニール袋送付用封筒)を乳幼児健診、乳幼児健康相談の際に配布し、尿をつけたろ紙は個々に、那覇保健所検査室宛、送付してもらうことにした。
- 2) 採尿は、原則として、3～4ヶ月、6～7ヶ月、9～10ヶ月、12～13ヶ月の時点に行うことにした。
- 3) 検査は、Spot法により行った。
- 4) 採尿後、検査までに要した日数について検討した。
- 5) 再検査を必要とするものについて、再検査依頼から再検査までに要した日数について検討した。

結 果

- 1) 今回の検査実施件数は、4633件で、月令別にみると6ヶ月の1336件が最も多く全体の28.8%に当り、7ヶ月までの検査が62.6%を占めた。
- 2) 再検査を要した件数は、170件で、再検率は3.67%であり、月数が長ずるにつれ再検率は高くなつた。
尚、採尿不良は42件で、0.9%であつた。

- 3) 採尿から検査までに要した日数について検討し得たのは、3602件で、約70%が3日以内にろ紙が受理され、7日以内に90%のろ紙が受理されている。
- 4) 再検査を要するものについて、再検査依頼から再検査実施までの日数を検討し得た134件についてみると、4週までに処理されたものが56.7%で、43.3%にあたる58件が4週以降に処理されている。
- 5) 沖縄県における神経芽細胞腫マス・スクリーニングのシステムについて、図の如くその確立を図った。

考 案

- 1) 検査実施後の再検率は、3.67%で、研究班の従来値とほぼ一致している。
- 2) 採尿から検査までの日数は、90%が7日以内であり、検査実施体制には、問題はないものとする。
- 3) 再検査を要するものの再検査までの日数について、43.3%が4週以降になつているので、これをできるだけ早期に処理すべく検討したい。

月令別検査数

月令	～3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	計
検査数	315	287	311	1336	651	366	448	391	279	188	61	4633
再検数	8	9	9	38	20	14	13	21	15	17	6	170
再検率	2.54	3.14	2.89	2.84	3.07	3.83	2.90	5.37	5.38	9.04	9.84	3.67

採尿不良による再検率

検査数	採尿不良	再検率
4633	42	0.9%

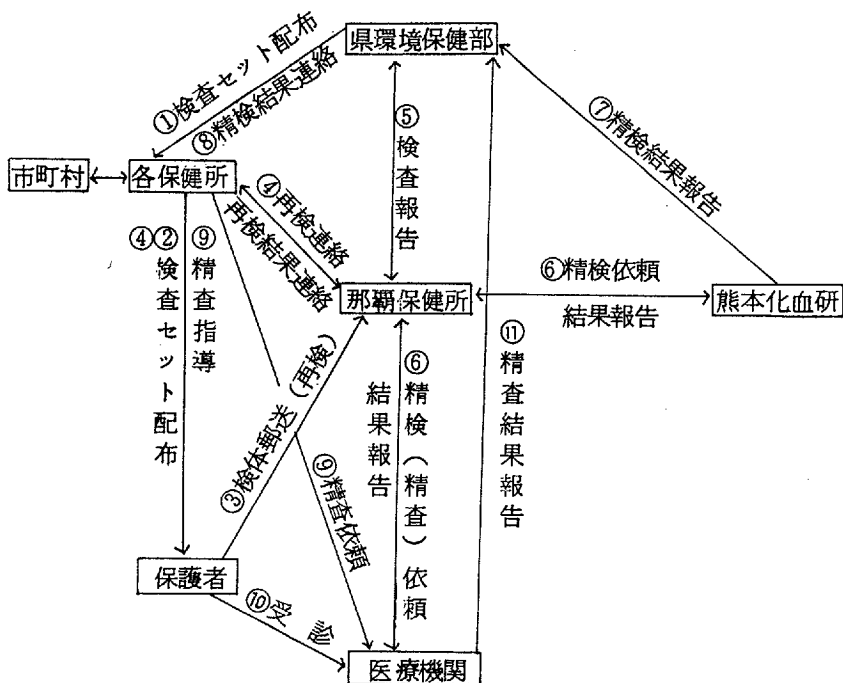
採尿から検査までに要した日数

日数	～3日	4～6日	7～10日	11～14日	15日～
検査数	2541	688	216	111	46
検査率	70.54	19.10	6.0	3.08	1.28

再検査までに要した日数

日数	～1週	2週	3週	4週	4週～
検査数	2	19	41	14	58
検査率	1.5	14.2	30.6	10.4	43.3

神経芽細胞腫マス・スクリーニングシステム（沖縄県）





検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用

論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



沖縄県において、神経芽細胞腫マス・スクリーニングを行政的に実施するにあたって、その実施体制を検討することを目的として、スクリーニングを実施することにした。

殊に、本県は、離島が多いため、離島における実施体制が大きな課題と考えられ、当那覇保健所管内の離島を中心に、一部、他の離島も含めて、神経芽細胞腫のスクリーニングを実施した。

現在は、沖縄本島内の市町村についても、当那覇保健所管内の12市町村を中心にスクリーニング実施をすすめているところである。